



施設に行こう! ⑤

江戸時代から約400年間続いた足尾銅山の坑道をトロッコに乗って見学できる、足尾銅山観光を紹介します。

銅山の歴史を体験しよう!

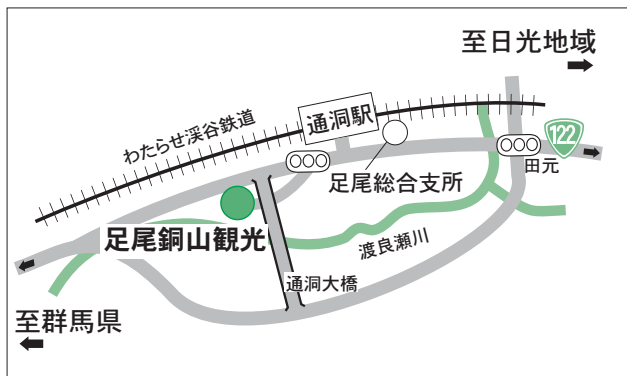
足尾銅山観光

江戸幕府直営の銅山として栄えた足尾銅山。明治初期には、当時の最新技術と設備を積極的に取り入れ、近代化を行いました。そして、明治20年代には国産銅の40%を産出する日本一の銅山へと発展しました。

足尾銅山観光では、実際に銅を採掘していた坑内を見学し、当時の作業の様子などを知ることができます。

銅山内部は地上600m、地下50mにわたる複雑な多層構造になっています。また、約400年間に切り開かれた坑道の総延長は、東京―博多間の距離に匹敵する1,234kmにも及びます。銅山観光では、この長い坑道のうちの700mを公開しています。入口から390mまではトロッコ列車に乗って見学でき、降車後は、等身大の人形を使って江戸、明治・大正そして昭和の各時代の作業の様子を再現した展示場を歩いて見学できます。

ところ 足尾町通洞9-2
 入坑料 大人 800円
 小・中学生 500円
 所要時間 約40分
 ※年中無休
 くわしくは
 足尾銅山観光管理事務所
 ☎(93)3240



勉強になりました。



横山小学校6年生の皆さん
(八王子市)

「移動教室で日光市にきました。日光市は緑が多くてとてもきれいですね。足尾銅山観光には初めて来ました。坑内は夏でも涼しくて気持ち良かったです。銅山の仕事は大変そうだなと思いました。昔の銅山の様子がよく分かりました。楽しかったので、また来たことがない人にも勧めたいです」。

お待ちしております!



「トロッコ列車で坑内に入った瞬間、そこはもう別世界です。坑内の温度は年間を通して

あきのめくみ 秋野恵 (銅山観光職員)
 て13度ほどで、まるで冷蔵庫のようです。坑内では銅山の歴史や採掘手法、道具などが分かりやすく解説されているので、大変勉強になりますよ」。